

# 標準施工要領書

厨房用断熱材付き排気ダクト

「フジエアダクトM」

作成	2010年2月1日
改訂	2022年9月2日



フジモリ産業株式会社

1-1

運搬・保管

- ・ 表面被覆材が損傷を起さないように、フジエアダクトの運搬時及び保管時には注意が必要です。特に積み重ねを行う場合には、下積みになったフジエアダクトが変形を起さないようにして下さい。
- ・ 雨水等が当たらないように、シート等で十分養生を行って下さい。
- ・ フジエアダクトを横積みする場合、平滑面の上に置いてください。
- ・ フジエアダクトを揚重する場合には、ワイヤー等は避け、ナイロンスリング等の幅広のバンドを使用し、表面材を損傷しないようにご注意ください。

1-2

付属品及び  
補修用テープ

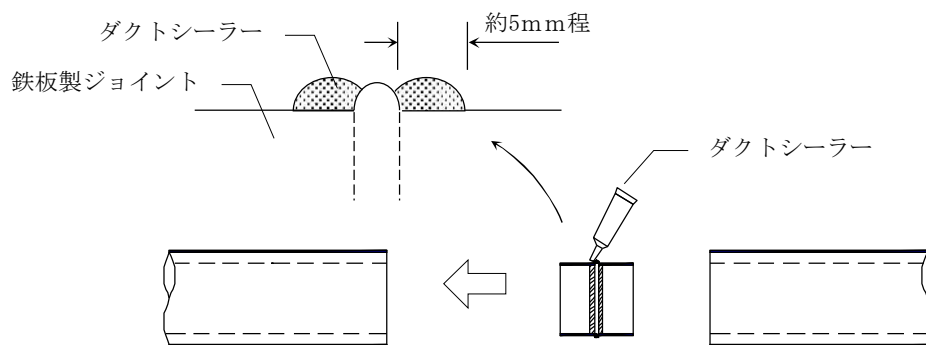
- ・ エルボ等の付属品も、直管の被覆材と同一材料を被覆した部品を用意しています。
- ・ 補修用テープには、高密度断熱材を基材とした粘着テープやALGC粘着テープを使用してください。

2-1

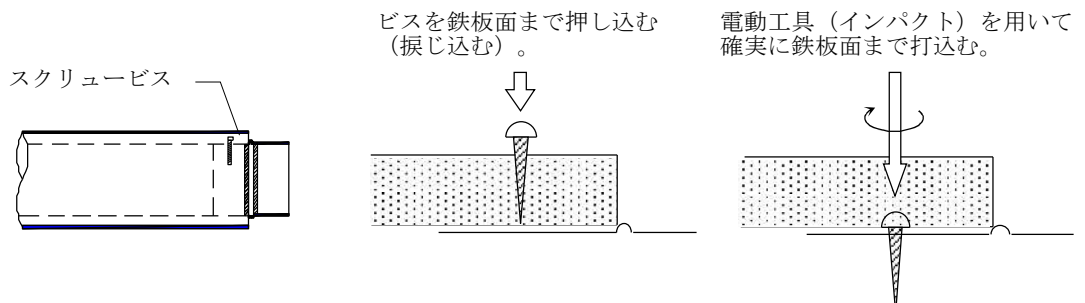
接続方法①

○ フジエアダクト同士の接続

1. 鋼板製ジョイント（ニップル）のヒモ部両側に、約5mm以上切れ目のないようにコーキング材を塗布する。（ダクト工事に使用するダクトシーラー等）



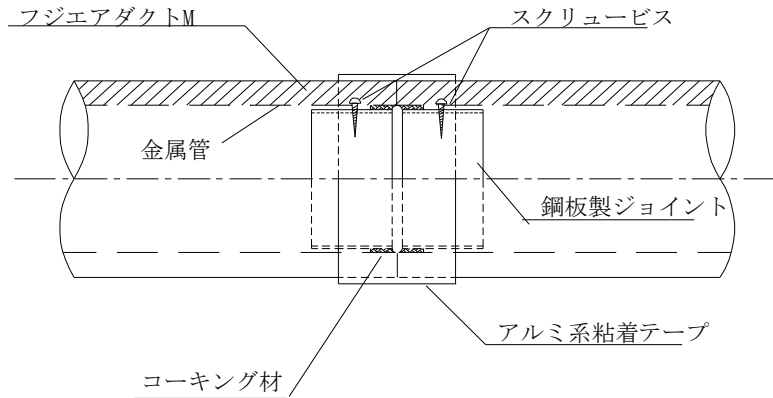
2. 鋼板製ジョイントの片端をフジエアダクトの内側に差込み、断熱材の上から鋼板面までスクリーブビスにて固定する（ダクト真下を外すよう円周上に、3箇所ビス止めする）。この時、スクリーブビスの頭は、ダクトの鋼板まで達するように打込む。  
※スクリーブビスの長さは25mm以上、電動工具のドライバーは50mm以上のものを使用してください。



3. 片方のフジエアダクトを差込み、鋼板面までスクリーブビスにて固定する。（ダクト真下を外すよう円周上に、3箇所ビス止めする）



4. 被覆材の上から、ビス打込部、接続部を覆うようにアルミ系粘着テープ等で、接続部を一周巻き付ける。 ※注1)



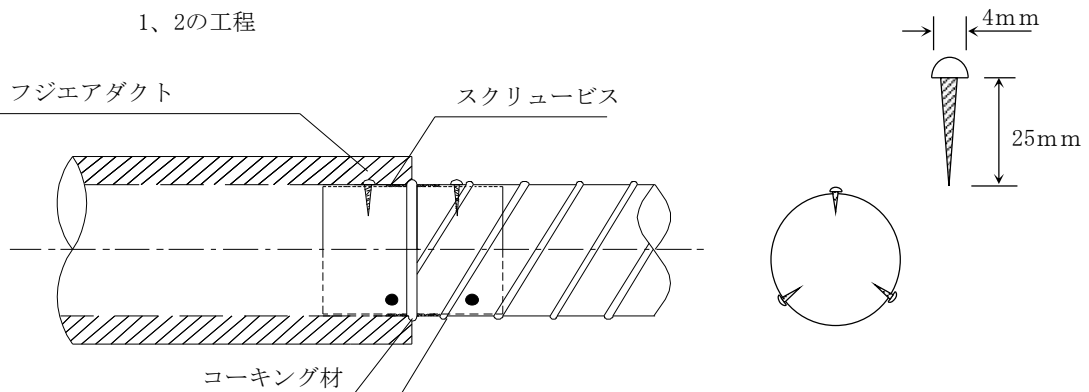
注1) 但し、打込んだスクリービスの頭が露出、接続隙間のある場合は、無機繊維材（粘着付等）で露出部を隠ぺいしてから、アルミ系粘着テープを巻き付ける。

2-2

施工方法②

○ 金属管とのジョイント（外壁側等との接続）

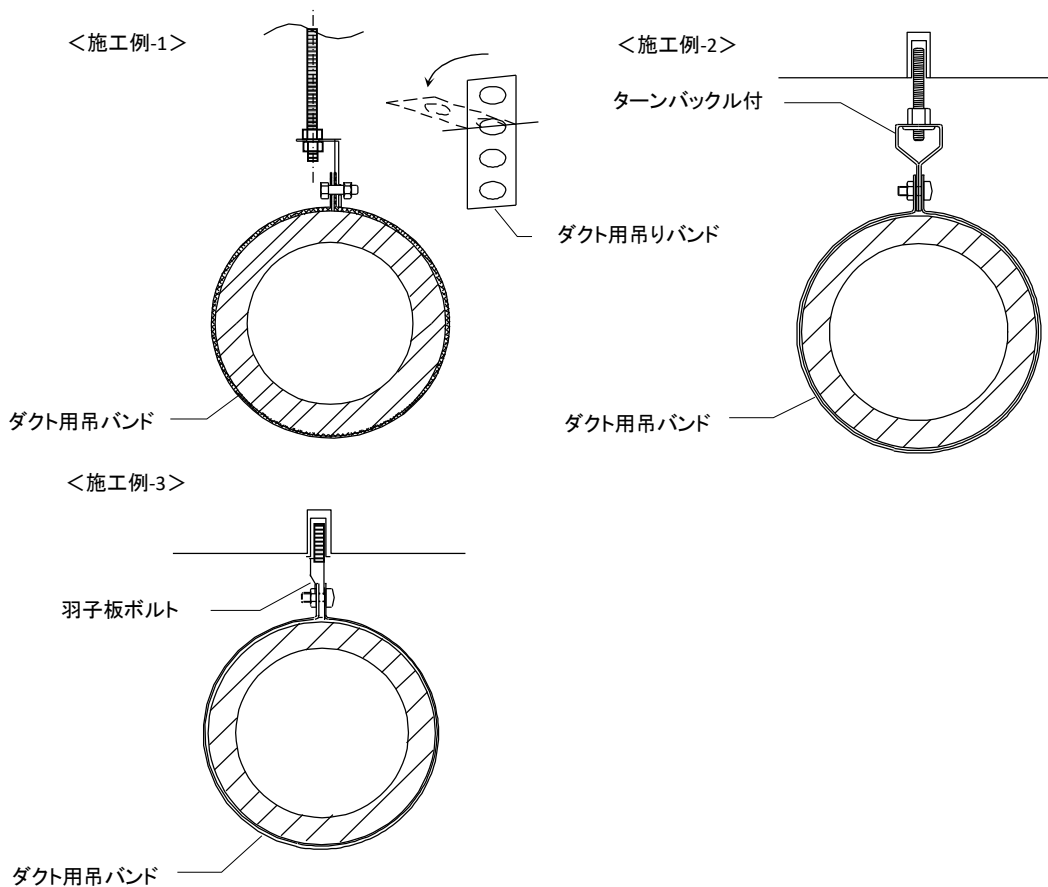
1. 金属管（片ニップル付）のヒモ部に、約5mm以上切れ目のないようにコーキング材を塗布する。（ダクト工事に使用するダクトシーラー等）
2. フジエアダクトの内側に金属管（鋼板製ジョイント）を差し込み、断熱材の上からスクリービスにて固定する（ダクト真下を外すよう円周上に、3箇所ビス止めする）。この時、スクリービスの頭は、ダクトの鋼板まで達するように打込む。  
※スクリービスの長さは25mm以上、電動工具のドライバーは50mm以上のものを使用してください。



3. 金属管の部分に半割状のフジエアダクト用断熱材を壁面との隙間が出ないように取付け、アルミ系粘着テープ等で半割部を取付ける。
4. 被覆材の上から、ビス打込部、接続部を覆うようにアルミ系粘着テープ等で、接続部を一周巻き付ける。 ※注1)



< 吊金具施工例 >



2. 現場切断加工

現場における切断等の加工は、従来使用されている高速丸鋸カッターが使用できます。但しカッターの刃の深さは30mm以上が必要です（専用カッターも準備してあります）。

2-4  
その他

特に現場の指示がある場合は、それによるものとする。